

新聞の藤田勝氏が同行し、取材内容が読売新聞「医療ルネサンス（平成23年5月6日朝刊）」に掲載された。

謝辞

今回、快く案内してくれたOHSU病院 Dr. Richardson, Dr. Quinn, Dr. Yamashita, Dr. Muramoto, ポートランドアルツハイマー協会のMs. Grondal, Cedar Sinai ParkのMr. Fuks とMs. Fuson, その他多くの関係者に深謝いたします。

注1：米国で使われているLiving Will(s)とAdvance directive(s)は、日本のリビングウイルや事前指示書とその定義と使い方が若干異なる。そのため、本稿では米国の場合は英語表記で、日本の場合は日本語表記とした。

注2：州によってMedical Orders for Life-Sustaining Treatment, MOLST (あるいはMOST)、Clinician Orders for Life-Sustaining Treatment, COLST など、名称やカードの色が異なる。

参考資料

1) 宮本礼子, 岩本喜久子, 宮本顕二. オーストラリアの認知症緩和医療. 北海道医報2009;1089号: 24-27.

- 2) 宮本礼子, 宮本顕二. 認知症における経管栄養の是非を議論する時ではないか. 日本認知症学会雑誌2009; 3: 64-65
- 3) POLST ORG. - Physicians Orders for Life-Sustaining Treatment Paradigm.
<http://www.ohsu.edu/polst/>
- 4) POLST Guidance for Oregon's Health Care Professionals.
<http://www.ohsu.edu/polst/programs/documents/Guidebook2011V2.pdf>
- 5) Hickman SE, Nelson CA, et al. Use of the Physician Orders for Life-Sustaining Treatment (POLST) paradigm program in the hospice setting. J Palliat Med. 2009; 12: 133-41.
- 6) 萬 知子, 巖 康秀, 他. 米国の緩和医療と終末期選択ーオレゴン健康科学大学Richardson博士の講演記録. 杏林医会誌2009;39:49-60.
- 7) Muramoto O. Socially and temporally extended end-of-life decision-making process for dementia patients. J Med Ethics. 2011;37:339-43.
- 8) 「高齢者の終末期の医療およびケア」に関する日本老年医学会の「立場表明」2012
<http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/tachiba/index.html>

北海道医師会サポートセンターのご利用について

◇情報広報部◇

北海道医師会サポートセンターでは、本会提供のメールアドレスに関するご相談だけでなく、パソコン操作やインターネット利用に関する質問対応も承っております。日頃のパソコン利用におけるちょっとした疑問点やトラブル対応の第一相談窓口として、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ例

パソコンをMacに変えたら使い方がよくわからない・・・ご利用方法をご案内
プロジェクターでパソコンの映像を映したい・・・ご利用方法をご案内
光電話ってどうしたら使えるの・・・光電話についてご案内、取次ぎも可能
エクセルの使い方がよくわからない・・・一般的な使い方であればご案内可能
サポートに来てほしい・・・駆けつけ業者を手配します(有料となります)

お問い合わせ先：北海道医師会サポートセンター（平日 10:00～12:00、13:00～17:00）

○TEL： 011-738-3401

○E-mail： support@hokkaido.med.or.jp